

2024年3月期

第1四半期 決算説明資料

第100期：第1四半期累計期間
(2023年4月1日～2023年6月30日)

2023年7月27日

思いをこめて、あしたをつくる
Passion in Creating Tomorrow

太平洋互業株式会社

1. 第1四半期業績
2. 2023年度通期予想

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 1Q 連結業績



自動車生産増加により販売物量が増加し、売上・経常利益・四半期純利益は過去最高。

(億円、%)

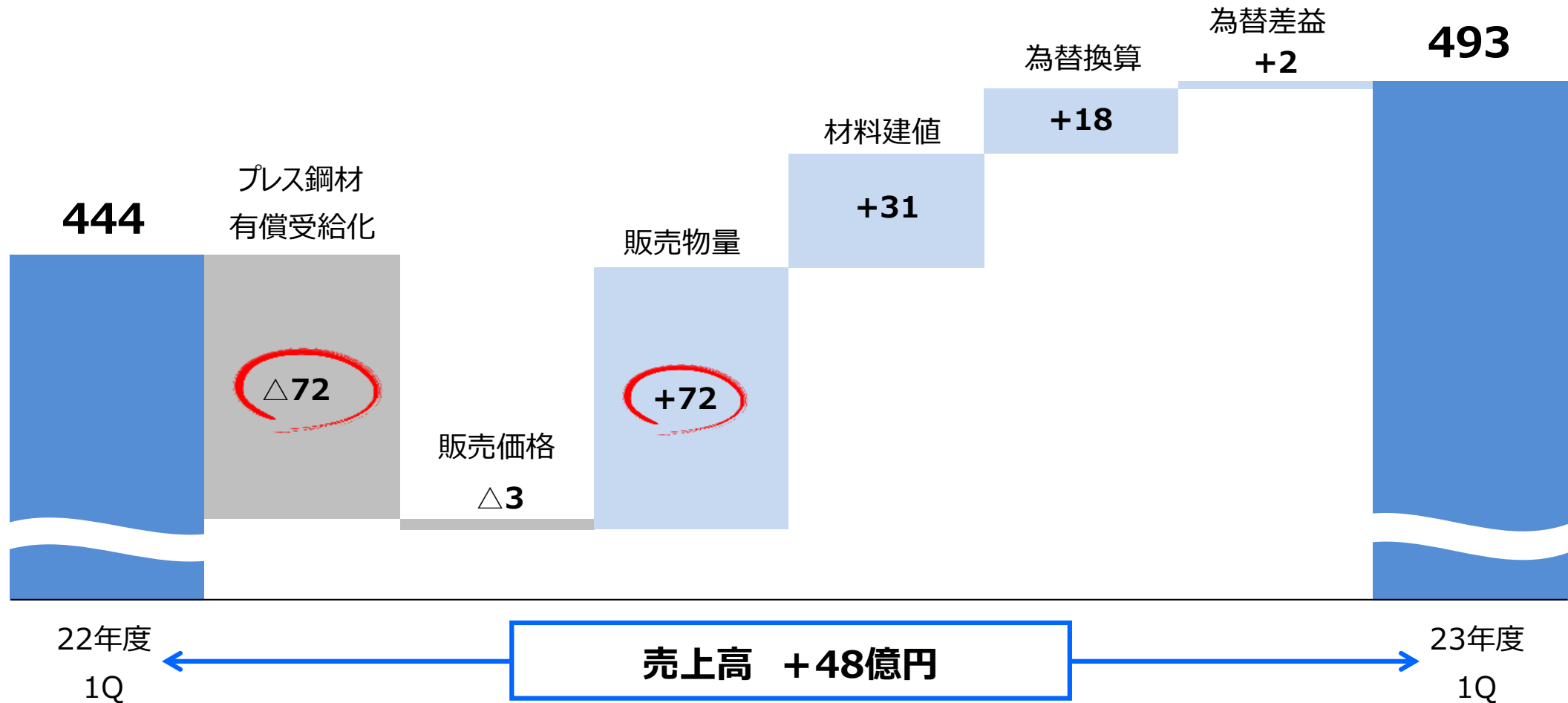
	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績		前年同期比	
				増減	増減率
売上高	444	過去最高	493	+48	+10.9
営業利益	16		31	+14	+89.4
営業利益率	3.7%		6.4%	+2.7P	-
経常利益	38	過去最高	52	+13	+36.0
経常利益率	8.7%		10.7%	+2.0P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	29	過去最高	39	+10	+36.0
四半期純利益率	6.5%		8.0%	+1.5P	-
平均為替レート (米ドル)	125.9円		135.7円	+9.8円	-

※2022年度第4四半期以降、プレス鋼材の有償受給化による売上高と売上原価の相殺表示対象増加により、売上高が減少しています。
2023年度1Qは、上記影響により、前年同期比72億円の売上高減少が含まれています。利益への影響はありません。

1-2 1Q 連結売上高 増減要因

プレス鋼材有償受給化による減収を販売物量増加でカバーし、1Qとして過去最高。

単位: 億円

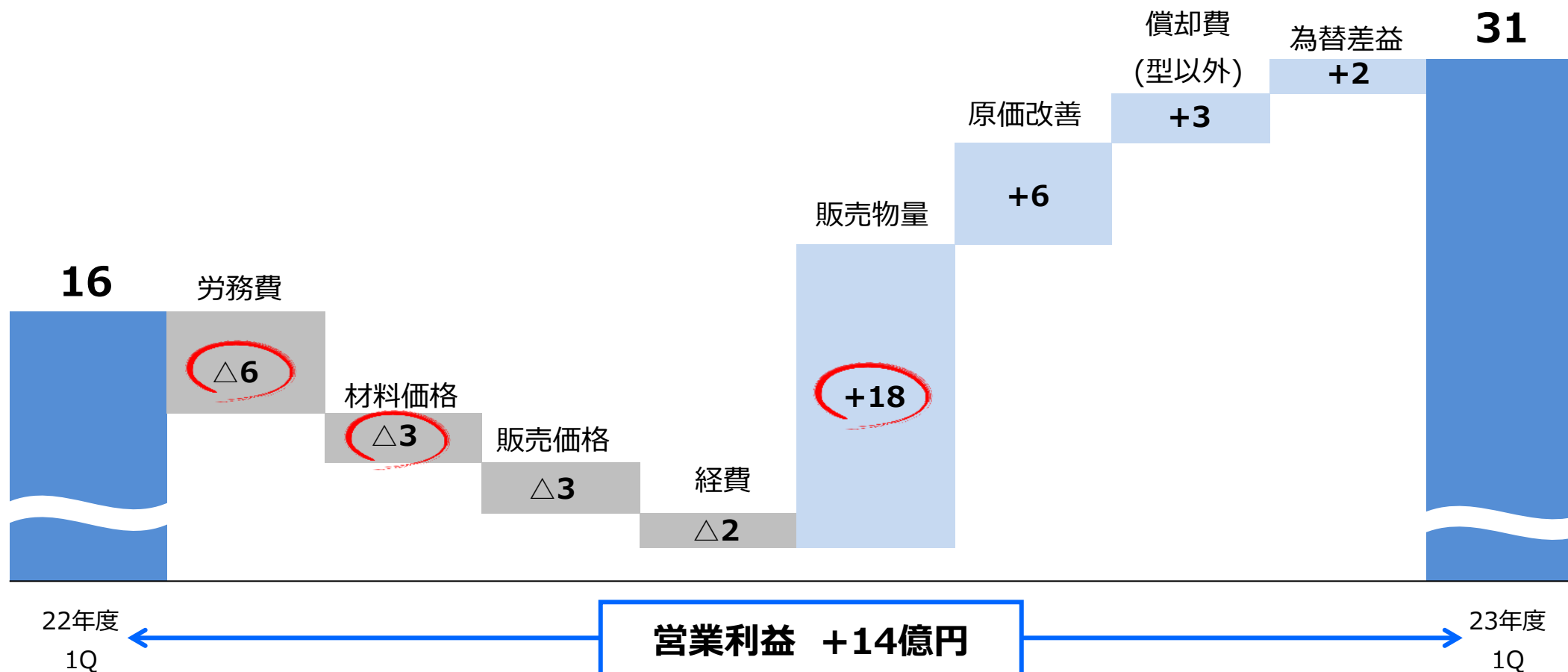


1-3 1Q 連結営業利益 増減要因



生産物量増加によりコストは増加。販売物量増加と原価改善により増益。

単位: 億円



1-4 1Q 連結事業別セグメント



プレス・樹脂は販売物量増加により増収増益。

バルブは為替影響で増収、材料高・労務費高騰によるコストアップで減益。

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	22/1Q 実績	23/1Q 実績	増減	前年同期比 増減率	22/1Q 実績	23/1Q 実績	増減	前年同期比 増減率
プレス・樹脂	310	353	+42	+13.8	4	22	+17	+388.0
(プレス鋼材有償受給化影響)		(△72)						
営業利益率					1.5%	6.3%	+4.8P	
バルブ	133	139	+5	+4.0	11	9	△2	△23.0
営業利益率					8.8%	6.5%	△2.3P	

※2022年度第4四半期より、プレス鋼材有償受給化による売上減少が含まれています。利益への影響はありません。

1-5 1Q 連結地域別セグメント



日本・欧米は生産台数増加により増収増益、アジアは前年並み。

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	22/1Q 実績	23/1Q 実績	前年同期比 増減 増減率		22/1Q 実績	23/1Q 実績	前年同期比 増減 増減率	
日本	162	167	+5	+3.2	8	16	+7	+96.0
(プレス鋼材有償受給化影響)		(△72)						
営業利益率					5.0%	9.6%	+4.6P	
欧米	183	225	+41	+22.7	1	8	+6	+385.5
営業利益率					0.9%	3.6%	+2.7P	
アジア	98	99	+1	+1.4	7	5	△1	△22.5
営業利益率					7.4%	5.7%	△1.7P	

※2022年度第4四半期より、プレス鋼材有償受給化による売上減少が含まれています。利益への影響はありません。

1. 第1四半期業績
2. **2023年度通期予想**

2-1 通期 連結業績予想



1Q実績と外部環境変化を踏まえ、業績予想を上方修正。

(億円、%)

	2022年度	2023年度		前期比		4/27発表値比	
	通期実績	通期予想		通期		通期	
		4/27発表	今回見直し	増減	増減率	増減	増減率
売上高	1,912	1,850	1,900	△12	△0.7%	+50	2.7%
営業利益	92	100	105	+12	12.9%	+5	5.0%
営業利益率	4.9%	5.4%	5.5%	+0.6P	—	+0.1P	—
経常利益	132	130	140	+7	6.0%	+10	7.7%
当期純利益	93	90	95	+1	2.1%	+5	5.6%
ROE	7.0%	6.4%	6.6%	△0.4P	—	+0.2P	—
ROA(営業利益ベース)	3.7%	3.7%	3.9%	+0.2P	—	+0.2P	—
一株当り純資産	2,309円	2,467円	2,590円	281円	12.2%	123円	5.0%
平均為替レート(米ドル)	134.9円	130.0円	131.4円	-3.5円	—	1.4円	—

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。

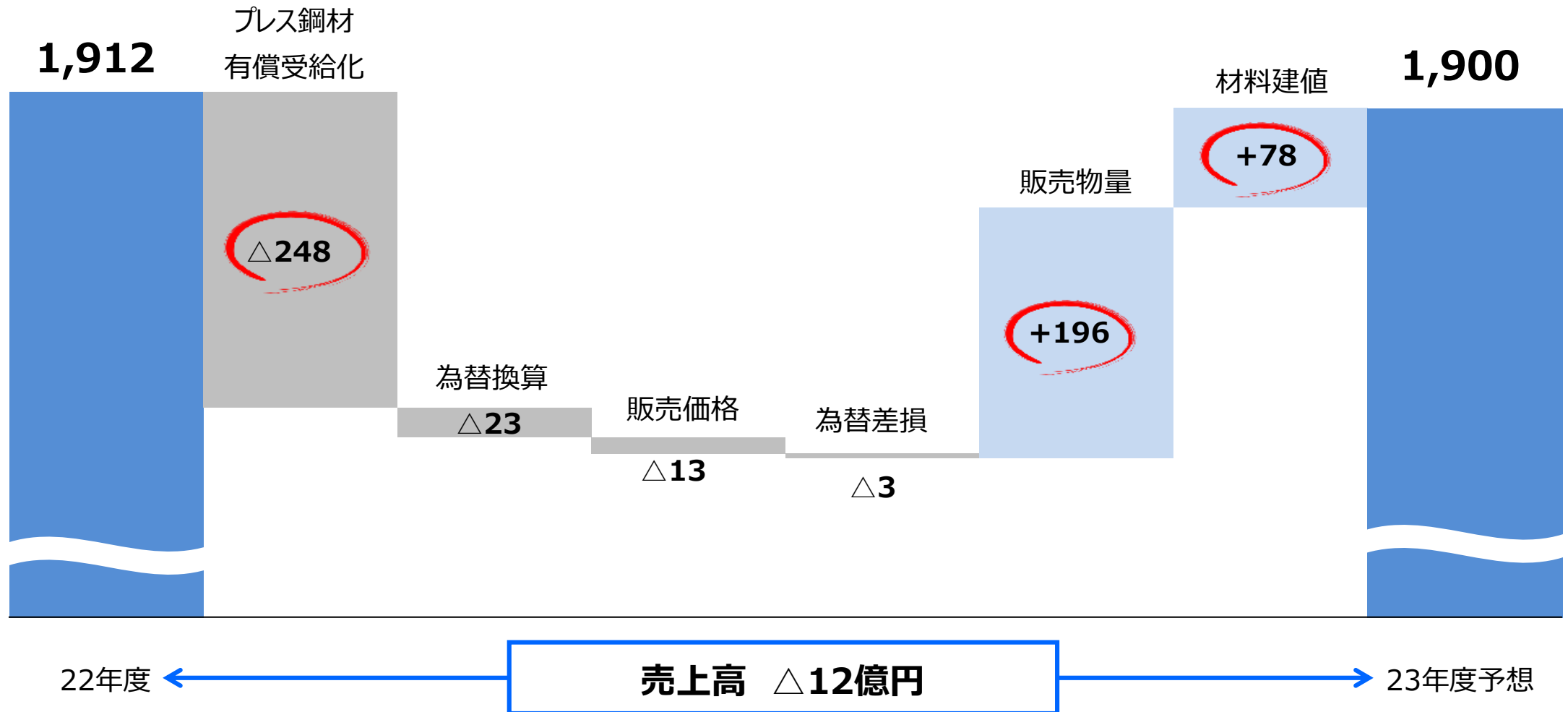
※2022年度第4四半期以降、プレス鋼材の有償受給化による売上高と売上原価の相殺表示対象増加により、売上高が減少しています。

2023年度は、上記影響により、前期比248億円の売上高減少が含まれています。利益への影響はありません。

2-2 通期 連結売上高 増減要因

販売物量は増加を見込む。プレス鋼材の有償受給化により売上高は減少。

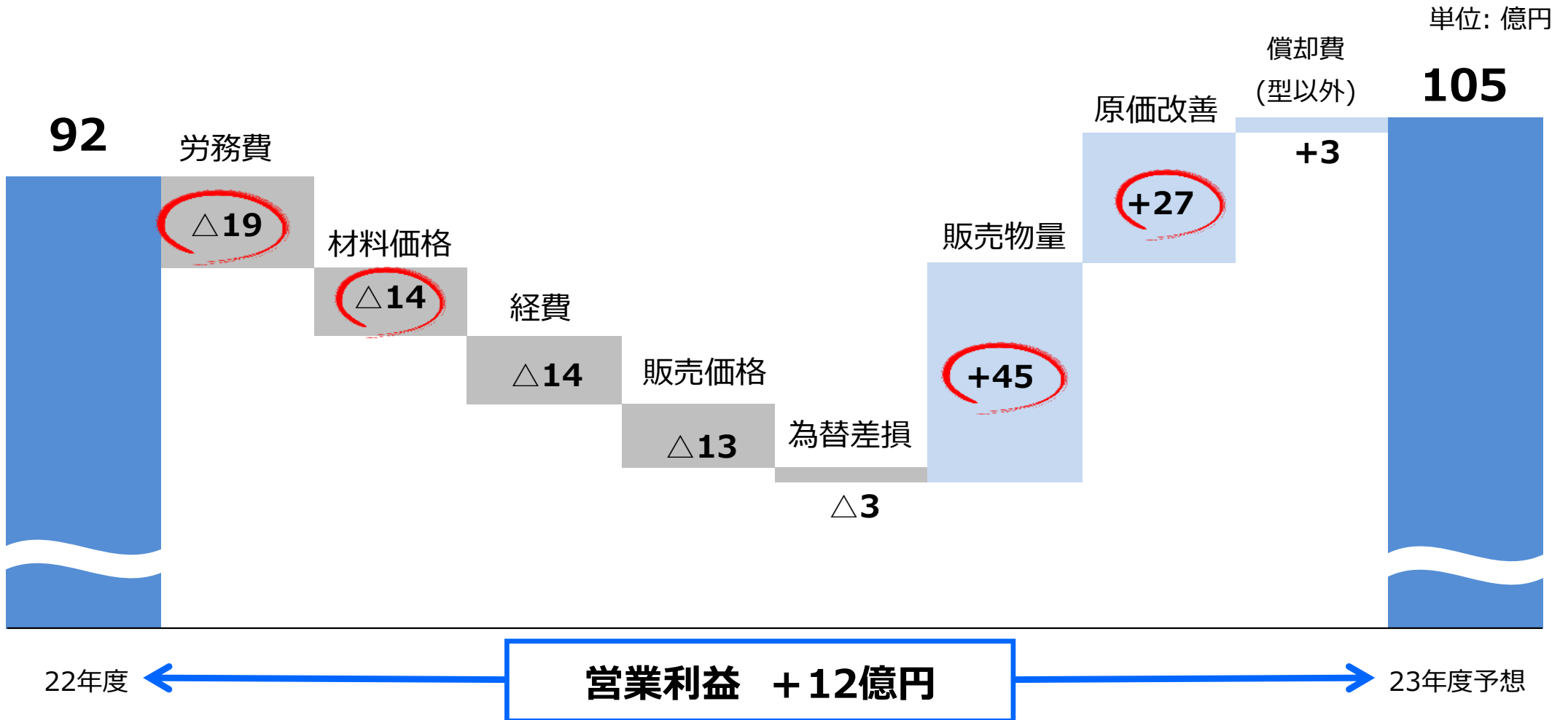
単位: 億円



2-3 通期 連結営業利益 増減要因



生産物量増加によりコストは上昇。継続的な改善で増益を見込む。



2-4 通期 連結事業別セグメント



プレス・樹脂は見かけ上は減収、実質物量増加により増益を見込む。バルブは減収減益を見込む。

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	22年度 実績	23年度 予想	増減	前期比 増減率	22年度 実績	23年度 予想	増減	前期比 増減率
プレス・樹脂	1,368	1,360	△8	△0.6	49	75	+25	+50.7
(プレス鋼材有償受給化影響)	(△51)	(△299)	(△248)					
営業利益率					3.6%	5.5%	+1.9P	
バルブ	542	535	△7	△1.3	42	30	△12	△29.6
営業利益率					7.9%	5.6%	△2.3P	

※2022年度第4四半期より、プレス鋼材有償受給化による売上減少が含まれています。利益への影響はありません。

2-5 通期 連結地域別セグメント



日本・アジアは減収減益、欧米は増収増益を見込む。

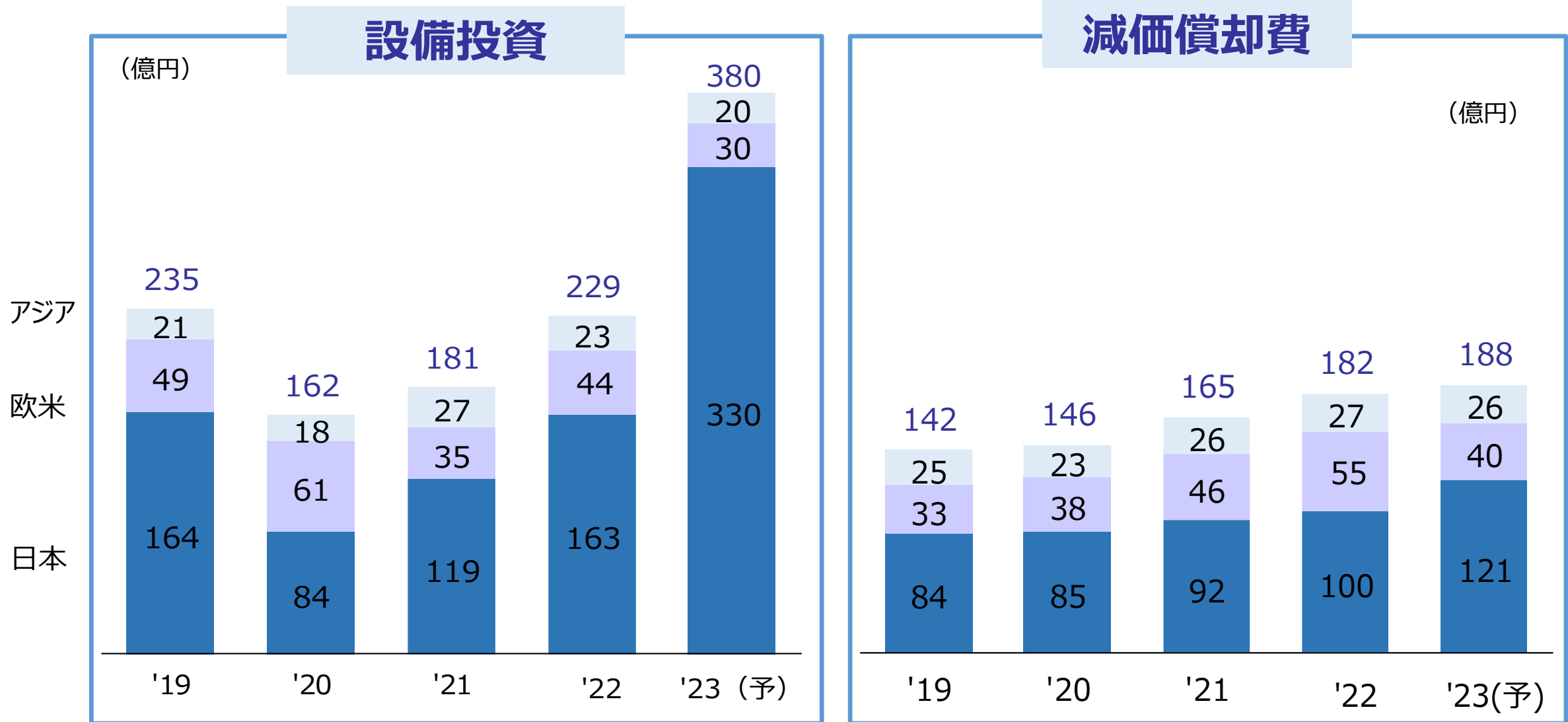
(億円、%)

	売上高				営業利益			
	22年度 実績	23年度 予想	前期比		22年度 実績	23年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	706	685	△21	△3.0	49	47	△2	△5.8
(プレス鋼材有償受給化影響)	(△51)	(△299)	(△248)					
営業利益率					7.1%	6.9%	△0.2P	
欧米	781	803	+21	+2.8	△1	23	+24	-
営業利益率					△0.2%	2.9%	+3.1P	
アジア	425	412	△13	△3.1	36	27	△9	△26.8
営業利益率					8.7%	6.6%	△2.1P	

※2022年度第4四半期より、プレス鋼材有償受給化による売上減少が含まれています。利益への影響はありません。

2-6 連結設備投資・減価償却費

プレス新工場やバルブ新製品生産ラインなどの積極投資を実施。



顧客・社会課題解決を推進し、企業価値の向上をめざす。

新プレス工場



- ・7月に新プレス工場 1 期工事が完了、11月本格稼働に向け準備を推進
- ・働きやすい職場環境を整備
- ・金型工場、開発センターを順次新設

e-WAVES Cloud

シンプルで機能充実

GDP、FDA Part11、ER/ES指針準拠

データはセキュリティの高いAWSに蓄積

異常や負荷状況を24h/365日監視

最短1分間隔でのクラウド送信による優れたリアルタイム性を確保

<https://www.pacific-ind.co.jp/news/20230704113026.html>

- ・マルチセンシングロガー「e-WAVES」の専用クラウドシステムをアップデート
- ・医薬品業界の要件に沿った高いセキュリティ、改ざん防止性を確保

GPIF採用の ESG指数に選定



FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

(2年連続選定)

- ・ESGについて優れた取組みを行っている日本企業を対象とした「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初めて選定



思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow